

小川くにこのプロフィール

- 高津区久本在住。家族は夫小川栄一（元県議会議員）と、母。
- 都立小石川高校卒。早稲田大学第1文学部英米文学科卒。川崎稲門会常任幹事。
- 元 YMCA 横浜予備校英語科講師。
- NPO 法人理事。（在宅介護）
- 平成 11 年 4 月 県会議員に初当選
平成 15 年 4 月 県会議員に 2 期目の当選
平成 19 年 4 月 県会議員に 3 期目の当選
- 県議会にて総務政策常任委員長、建設常任委員長（女性初）、決算特別委員長、県民企業常任委員会副委員長、厚生・文教・予算委員会委員などを歴任。
- 県青少年問題協議会委員、県開発審査会委員、県建築審査会委員などを歴任。
- 自民党神奈川県連政務調査会副会長
自民党神奈川県連女性議員局局長
- 川崎北部菊花会会長、高津区ゲートボール協会副会長、高津親睦ソフトボールリーグ顧問、東橘校区スポーツ親睦会顧問、ママさんバレーせせらぎリーグ顧問
- 趣味／ウォーキング、
読書、音楽鑑賞



小川くにこ事務所

高津区久本2-7-34 TEL:044-865-1313 FAX:044-888-3600

<http://www.kinet.or.jp/seseragi/>

〈討議資料〉



小川くにこ

自 民 党

くらしの声を政策に！

川崎市唯一の 女性県会議員として

小川くにこは3期12年間、医療・介護・福祉の充実、子育て支援、青少年問題、教育改革、行財政改革、環境問題にそれぞれ重点的に取り組み、川崎市唯一の女性県議として、現場の声を県政に反映させて参りました。

現場主義をモットーに、これからも常に「暮らしの声を政策に！」生かして参りたいと決意しております。どうぞ皆様のご理解とご支援をよろしくお願い致します。

条例を議員提案しました

条例制作チームの一員として
条文づくりに取り組みました

- ガン克服条例（平成20年4月施行）
ガンで苦しむ方々の支援を充実強化
- 議会基本条例（平成20年12月施行）
議会・議員のあり方を再検討
- 歯・口腔の健康を推進する条例
（平成23年7月施行）歯科行政を確立



くらしの声を政策に！

何よりも 安全・安心

子育て支援策

教育には多様性の確保が重要です。個性豊かな人材を育成する為に教育・保育には予算は一元化・強化し、保育園・幼稚園・認定こども園は各特徴を充実させ、子供達の選択肢を確保します。又、小川くにはこは幼稚園設置基準を規制緩和させて、高津区の私立幼稚園定員枠を広げ、入園しやすくしました。



▲認定こども園にて

教育改革

有能な教員を育成する為に、教員の採用方法の改善や採用後の教員研修の充実などを企ててきました。生徒・児童が安心して頼りにできる「先生」を多く輩出できるようにこれからも取り組みます。一人一人の生徒・児童に温かな配慮が行き届く教育を実現する為に努力をしています。



▲県立高校にて

横断歩道

必要な場所に横断歩道を！久本メイフェアパーク出入口前に設置。道路拡幅工事が行われる時には、信号の移設を目指します。



駅前交番の改善

駅前交番の存在を明確にするために、屋根に表示看板を、デッキ上に夜もよく見える案内看板を設置し、地上からも交番をたずねやすくするよう、横断歩道を交番前に設置しました。地域のみなさんから2万人にも及ぶ署名を頂き、県警本部に小川くにはこが陳情して改善したものです。今後は、デッキ上に交番への出入口を設置するために小川くにはこは努力してまいります。



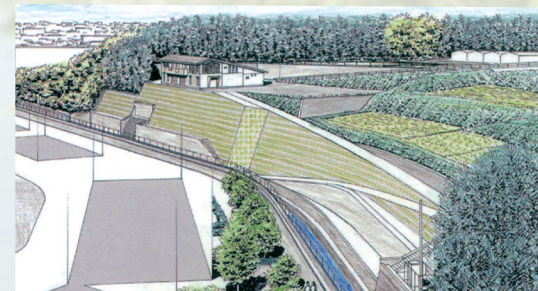
急傾斜地工事

高津区内には、ガケ崩れの危険性が高い箇所が多数あります。大雨や地震によって思いもかけぬ土砂崩れもおきます。女性初の神奈川県議会建設常任委員長のキャリアを踏まえ、住民にとって危険な急傾斜地のガケ崩れを未然に防ぐ為に努力をしています。



ゲリラ豪雨から地域を守る！

橘地区を流れる矢上川の氾濫を未然に防止する為に、河川の地下にトンネル状の遊水池を設置します。ゲリラ豪雨など大雨が降り、洪水の危険性が高まった場合、地下トンネルに河川から水を引き、雨量や河川の水量がおさまった後に、トンネルからポンプで水を河川に戻す。この大がかりな工事をポンプ場を設置する予定地の所有者の方々の協力を得て、久末地区に実現します。工事期間は10年間、工事費は260億円の予定。工事区域周辺の整備にも取り組みます。



▲有馬川流入施設イメージ図（久末のポンプ設置施設）